

施主權大僧都法印快運 在判

九月八日。統秀、珠洲郡法住寺に、井田の下地を寄進す。

【法住寺文書】 珠洲郡

1003

奉寄進下地之事

合壹段者 在所井田 堀内田

右依有志、若山庄内直之郷法住寺鎮守に、相副本證文、永代所寄進申也。可致專祈禱。於子々孫々不可有其煩者也。仍爲後日寄進之狀如件。

文明拾貳年庚子九月八日

統 秀 在判

法住寺衆徒御中

(裏書) 總 光 在判

十月二日。幕府、一色政熙に、料所石川郡倉光保の年貢を沙汰し、守護違亂の所々を成敗せしむ。

【一色家文書】

1004

御料所加州倉光保年貢事、右可被致執沙汰。次於守護違亂所々者、一段可有御成敗上者、先代官地下相共堅相觸之、可被全所務由被仰出候也。仍執違如件。

文明十二年十月二日

(希施) 英 基 在判
(松巴) 貞 康 在判

一色式部少輔殿

文明十三年

辛丑

紀元二二四一

正月十一日。鹿島郡向田の代官三階家吉、島八ヶより神納する一宮二斗米に就いて注す。

【向田神明社文書】 鹿島郡

1005

文明拾參年正月十一日

家 吉 在判

就一宮貳斗米嶋八ヶ村分廣田々數事

西方殿 一、參町五百疇

此内五百疇神社地 野崎領家分

馬淵殿 一、陸町六百六拾疇

神社共ニ 須 會

譽田殿 一、肆町貳百玖拾八束疇

神社共ニ 飯 浦

富田殿

一、伍町九十疇

鈎 村

溫井殿

一、拾 町

神社共ニ此内七町向田 參町子ヤムセキ 向田關牽關

波々伯部殿

一、玖町貳百四拾疇

神社共 エノミ村

同

一、貳町百四拾疇

神社共 蜂 崎

遊佐殿

一、七千百廿疇

神社共 野崎地頭

都合四拾八町四拾八束疇

百別別六升四合宛

參拾石六斗四升之米

拾五町參段二之分之二斗米

此分申合神納候也

(島八ヶとは能登島に於ける八ヶ村をいふ。この文書に聞と牟關とを一邑として數ふる者は注意すべし。)

【向田神明社文書】

1006

溫井殿より玄秀殿公納段錢二斗米之事

廣田之分寺氣・社氣共七千疇

向田分

三千疇寺ヶ・社ヶ共給屋牽關分

是ハ文明十二年之二月十八日御尋、一宮二斗米ニ付て三階備後殿奉行めされ候時、溫井五郎右衛門殿より仰被出候。

向田之御代官三階殿家吉

二 町 龍興寺 八百八十疇 正法寺

八百六十疇 般若寺 五百疇 八幡神主

百四十疇 新光寺 四百疇 大宮之神主

四百九十疇 二郎衛門 百四十疇 白山之神主

百疇とかう元 寺社之分

合五千五百十束疇

當番頭 太郎兵衛 吉 次 在判